

～はじめに

僕がこのパンフレットを作ろうとした理由

僕は牧之原市で、統合失調症と向き合いながら暮らしています。市内には僕のように統合失調症や他の精神的な病の人が生活しています。いろいろな生き方があることを、地域の人に知ってもらいたくて、同じ病気の仲間と作りました。



精神パンフレットの理解を深める啓発パンフレット作成プロジェクト部会メンバー構成は、当事者・相談支援事業所サービス提供事業所・行政。何回も集まって話し合ったに！

牧之原市障害者自立支援ネットワークイメージキャラ



みんなに知ってもらいたいこと

当事者の体験からの言葉

- ・何もしていないのは、頭の中を嵐が吹き荒れている状態なのでできない。
- ・放っておいてほしいことがある。
- ・自分達のペースがあるので、理解してほしい。
- ・病気があっても作業所へ行ったり、療養に専念したい人がいることを知ってほしい。
- ・決して精神病はなまけ病ではないし、さぼり病でもない。
- ・病状が良くなったり悪くなったりする。図書館や買い物に出かけることができても、健康ではないことを理解してほしい。
- ・休むことが治療になる事を知ってほしい。
- ・一般就労でも作業所などの福祉就労でも、みんないろんな生き方がある事を知ってほしい。

ひとりで考え込まないで…相談してください。

【牧之原市の福祉資源など】

相談支援事業所

- 生活支援センターつばさ TEL0548-53-2610
- 生活支援センターやまばと TEL0548-23-0073
- 相談室こころ TEL0548-22-5529
- 相談支援事業所さくらんぼ TEL0548-22-8770

日中通う場所

- 就労継続支援 A型事業所(雇用契約を結び就労を目指す所)
センドラン静岡
- 就労継続支援B型事業所(軽作業など行う所)
こづつみ作業所
第2こづつみ作業所
さがら作業所
あじさい
サポートセンターみつばち
ヨンワ
ワークセンターやまばと
- 域活動支援センター(社会参加のきっかけの場)
はぐるま

公共施設など

- 静岡県中部保健所榛原分庁舎 TEL0548-22-1151
- 牧之原市社会福祉課 TEL0548-23-0072
- 牧之原市社会福祉協議会 相良 TEL0548-52-3500
榛原 TEL0548-22-5187

医療機関

- 榛原総合病院(精神科)
- ねぎクリニック

☆このパンフレットについてご意見・ご感想等、地域の皆さんの声をお寄せください。

連絡先 牧之原市障害者自立支援ネットワーク事務局

TEL0548-23-0073 FAX0548-23-0099

みんな気付いて! (^_^)! 100人に一人の僕のものごと

※統合失調症は100人に1人が発症するといわれています。主に10代から30代にかけて発症する病気です。

数年前



現在



★牧之原市内に暮らす当事者の詩
君の手にはチャンスボールが握られている
生かすもダメにするのも自分次第だ
by H.I

牧之原市障害者自立支援ネットワーク
「精神障害の理解を深める
啓発パンフレット作成プロジェクト部会」

僕は今35歳。いろいろなことがあった。

地元で就職してから少し経ってだんだん眠れなくなり、不安や焦る気持ちが強くなっていった…

～苦しくて苦しくて…

誰もが敵に見えた時期～



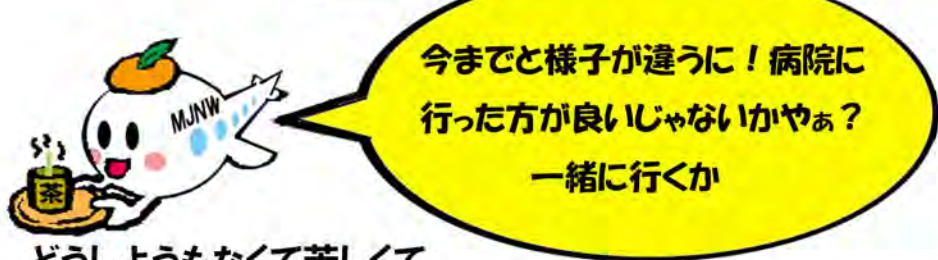
いつもゴソゴソ陰で悪口を言われているような気がして、どうしようもなく死にたいと思うようになった。



外を歩くと他人が自分のことを見ていたり、笑っていたり、心を読まれていると感じた。



家で寝ているのに、会社の事務所にいるように、何十人の話し声や電話のベルが聞こえてきた。



今までと様子が違うに！病院に行った方が良くないかやあ？一緒に行くか

どうしようもなく苦しくて、人に話すこともできなかつたし、生活リズムは崩れていった。でもこれが病気だなんて思わなかつた。

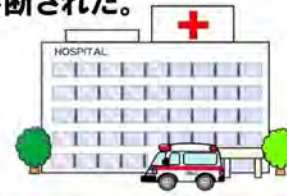
～もうボロボロだよ…

病院に行かされた時期～

家でゆっくりできなくて、不安と焦りで大声が出てしまうことがあった。



友人や家族に病院をすすめられたが行きたくなかつた。最終的に連れて行かれ、統合失調症と診断された。



① ②
③ 病院の先生からは「薬をしっかりと飲むことが大切。」と言われ飲んでみた。しかし毎日飲み続けることは大変。



④ 心配だったので自分でも医学の本を読んで調べてみたら、こんな症状は自分だけでないことに気付いた。



～すごく疲れたなあ…

ちょっと休みたいと思っていた時期～



ゆっくり休んでいゃええだよ。焦らんたっていいに！

なんかやる気がしなかつたり何をやっても楽しくなかつた。いくら寝ても眠たかつた。だいぶ落ち着いてはきたけど、まだ不安定な時期だつた。自分の勝手な判断で、薬を飲まない時期もあつた。

～ちょっといろいろ

やってみたくなつた時期～

病気になってから初めて家族に自分のやってきた仕事で恩返しすることができた。自分がやってきたことが認めてもらえたように思えた。

近所の人に挨拶を返してもらえない不安があつたが、挨拶をしたら返してもらえた。そんな当たり前のことが嬉しい。

しかし具合が悪くないので、自分の事がよく見えるようになり、社会に取り残されたように感じ、死にたい気持ちになつた。



自分のペースでゆっくりやていくさ！



だんだん元気になってきた。もっと元気になると思つて焦つたり、不安もあつた。

でも今は元気になるんじゃなくて、自分らしく生活出来れば良いと思つている。現在は就労継続支援B型事業所と地域活動支援センターに行つている。

いろいろな生き方があることを知つてほしい。